

研究開発推進ネットワーク事業 事後評価対象課題一覧（令和4年度終了課題）

#	研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職
1. 国民に向けた医学系研究の情報発信				
1	「医学系研究の成果をわかりやすく発信する手引き」の普及と改善の提案	山田 恵子	埼玉県立大学	准教授
2. 研究マネジメント人材の育成				
2	アカデミアシーズの実用化に向けた研究開発体制における研究マネジメント人材の育成システム開発に関する研究	菊地 佳代子	国立成育医療研究センター	室長
3. 研究計画立案及び実装が可能となる研究支援				
3	臨床研究中核病院以外の ARO における多職種の見点による高品質の臨床研究計画作成支援体制の構築	浅田 隆太	東海国立大学機構 岐阜大学	准教授
4	非臨床研究中核病院における各専門職種のリソースを考慮した研究計画立案支援体制の構築	乾 直輝	浜松医科大学	教授
5	クリニカルクエストから臨床研究計画書作成及び支援実施までのシームレスな支援体制の構築	関水 匡大	国立病院機構名古屋医療センター	室長
6	Quality by Design を用いた研究計画立案及び実装を可能とする研究支援体制の構築	松山 琴音	日本医科大学	教授
4. 臨床研究の品質確保（4-1. RBA の実装に向けた整備、方策等の提案及び推進）				
7	多機関共同のリアルワールドデータ研究に対する risk based approach を用いた臨床研究支援の実装と課題解決法の提案	田野島 玲大	横浜市立大学	講師
8	First in Human 特定臨床研究における RBA 実装の問題点及び改善策の提案	橋本 幸一	筑波大学	教授
9	生命・医学系指針を遵守する介入研究を対象とする Risk-Based Approach の実装に向けた整備、方策等の研究開発	村山 敏典	金沢大学	教授
4. 臨床研究の品質確保（4-2. QMS の実装に向けた RBA の概念に関する研究者及び研究支援者への教育）				
10	地域、疾患領域、臨床研究者・支援専門職ネットワークを活用した、QMS の実装に向けた RBA の概念に関する研究者及び研究支援者への教育資料の作成に資する研究	小居 秀紀	国立精神・神経医療研究センター	部長